



お客様各位

SMA ジャパン株式会社

〒105-0014

東京都港区芝 3-23-1

セレスティン芝三井ビル 8 階

Tel: 03-3451-9532

Fax: 03-3451-9432

www.SMA-Japan.com

担当者

坂本 典男

電話

03-3451-9603

E-mail

[Norio.Sakamoto@SMA-Japan.com](mailto:Norio.Sakamoto@SMA-Japan.com)

日付

2015 年 5 月 1 日

## 弊社パワーコンディショナの並列運転について

拝啓、貴社ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。早速ですが、弊社対象製品を並列運転する場合に懸念される、能動式単独運転検出方式の相互干渉に関する見解を以下にまとめます。

敬具

記

### 【対象製品】

サニートライパワー STP 25000TL-JP-30

### 1. 弊社採用の単独運転検出方式

弊社のパワーコンディショナで採用しています、能動式単独運転検出の基本動作原理を説明いたします。

系統の周波数変化が本制御機能の初動要件になること、また同一系統において周波数は共通であることから、パワコンによる電流位相の能動的な変動制御は、同一系統に並列されているパワコン間で常に同一方向となり、相互干渉することは技術的にありません。また、系統が定常状態である限り、本機能は動作しません。

系統連系規程: JEAC9701-2012「2-4 単独運転防止対策」の中で、スリップモード周波数シフト方式が紹介されており、周波数変化に対して電流位相を急速に変化させる特性をパワコンに持たせたものであることが動作原理となっています。同規程によれば「本方式を採用する発電設備等が同一系統に複数台連系される場合には、それぞれの周波数の変化の方向を合わせておくことにより、1 台連系時の単独運転検出特性と同等の検出特性を維持できる。」とあります。

### 2. 並列運転動作の保証について

弊社の能動式単独運転検出方式は、並列運転において相互干渉無く確実に動作することを、ここに保証致します。

以上

管理番号\_TS140115\_6